

新年のご挨拶申し上げます

市民と共創

住みよい高石市をめざして



高石市長 畑中 政昭

新年おめでとうございます。
皆様には穏やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は地域の担い手不足の解消や新たなコミュニティ形成の一助となるようコミュニティ再生支援事業補助金制度の創設や、子育て世代や若い世代が防災訓練に積極的にご参加いただけるようイザ！カエルキャラバン！の実施、ふるさと納税における返礼品を充実させるため地場産品の開発にかかった費用を補助する制度の創設など、新たな施策の実施に取り組んでまいりました。また、一昨年に引き続き高石駅の高架下や羽衣駅周辺をどのように活用するかを市

民の皆様と一緒に考えるワークショップのほか、新たに高石市内の公園についてのワークショップ、市長タウンミーティングの実施など、市民の皆様のご意見をお聴きした1年となりました。

令和7年の干支である乙巳(きのと・み)は、「変化を重ね、物事を安定させていく」1年になると言われています。皆様からお伺いしたご意見を基に検討を重ねながら、本年も市の発展に向け職員と共に全力で頑張つてまいります。
本年も温かいご理解とご支援をお願いし、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

安全・安心で持続可能な

魅力あるまちづくり



高石市議会議長 寺島 誠

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、能登半島をはじめ各地で地震や豪雨による災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。

私たち市議会は、そのような自然災害に対する防災減災対策をはじめ、少子高齢化対策などさまざまな課題について、市民の皆様のお声をお聴きし、市政に反映させるため、行政と議論を尽くし取り組んでまいりました。

今後も、市民の皆様のお命と暮らしを守るため、議事機関としての機能や役割を十分

に発揮し、安全・安心で持続可能な魅力あるまちづくりにむけて、より一層努力してまいります。

さて、今年は、大阪・関西万博がいよいよ開催されます。国際交流、地域活性化が期待されており、万博を契機に未来がさらに明るくなることを願っております。

市民の皆様には、市議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。